

マルチウェーブ  
高圧マイクロ波前処理装置 Multiwave 7x01 :7501,7301,7101

【こんな方に最適】

- 分析業務を効率化させ、生産性を向上させたい
- 高い分解力で、溶け残りをなくしたい
- オペレーターの安全性を高めたい

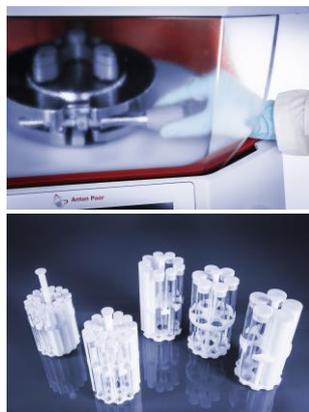
【特長】

- パワフルな分解力を有する高圧タイプのマイクロ波装置
- 初期圧自動調整で圧力バルブの操作不用
- 業界初の第三者機関の安全認証ダブル取得：GS、ETL



【こんな分野で活躍】

- 製薬 : 製剤から、原薬、中間体まで、局方改定で元素不純物試験への対応が必要
- 電池・電子部品 : 電子セラミックスやカーボン、樹脂など難分解試料が多く、純度管理も重要  
チタン酸バリウム, 酸化チタン, 窒化ホウ素, 窒化アルミニウム, 窒化ケイ素, ジルコニア等
- 化学、金属、分析機関、研究所 など、多種多様なサンプルに対応が必要なラボに最適です



【高圧チャンバーとは？】

新型チャンバーの中にラックとサンプルバイアルを掛け、密閉された圧力容器内でマイクロ波を照射します。通常のマイクロ波装置のようなドアではなく、容器の蓋はクランプでロックされますから、安全に圧力をかけることができます。また、前面にシールドカバーがあり、開封時の飛散リスクにも対応するなど、分析者の負担を減らします。

【高圧分解 = 高い分解力 が生むメリット】

- 硝酸濃度を下げたり、フッ化水素酸 使用を避けたり、分解手順もシンプルに → 安全と生産性向上
- これまでそれぞれ別に分解していた水準の試料をまとめて一度に分解 → 生産性向上
- 未経験の試料について、気軽に・手間を省き・溶液化にアプローチ → 生産性向上
- 容器がバイアルタイプなので、取扱いが簡単、軽量。力仕事から解放 → 生産性向上

Multiwave7x01 シリーズ

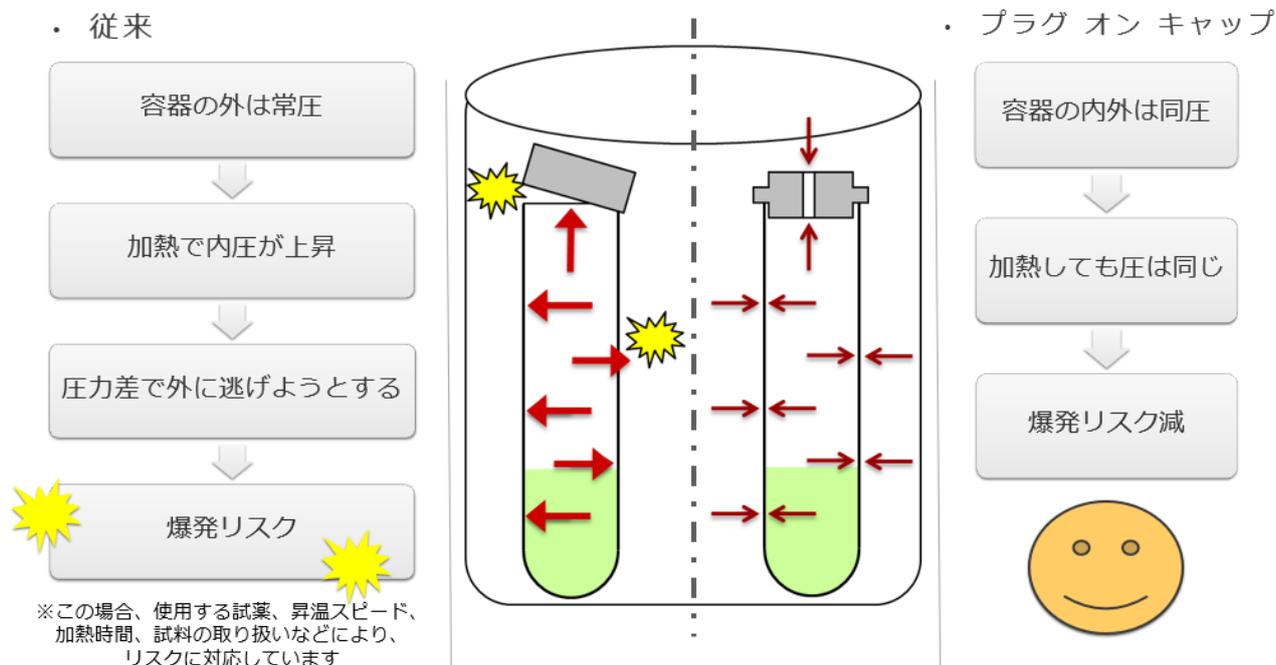
- ◆ Multiwave7301 : 従来の Multiwave7000 シリーズの後継。高い生産性と酸化力でラボ業務を改革
- ◆ Multiwave7501 : 従来機の耐腐食性をさらに向上。濃酸の使用頻度が高いお客様向け
- ◆ Multiwave7101 : 従来機から内蔵チラーを外した、低コストモデル。既設チラーがあるお客様向け

マルチウェーブ  
高圧 マイクロ波 前処理装置 Multiwave 7x01 :7501,7301,7101

アントンパール・ジャパン

【安全機能：プラグオンキャップの爆発対策！】

通気性のあるプラグオンキャップと分解室内への加圧により、これまでのマイクロ波加熱による爆発リスク（バイアル内だけが高圧になるため発生）への対策となっています。



【ワークフロー】

ドラフト内で仕掛けたバイアルはライナー容器ごと装置に掛けられます。その際に蓋をしてラボ内を運べるため、酸の飛散を防ぎます。



【概要：Multiwave 7301】

- ・ 概算価格 : 1200万～
- ・ 寸法、重量 : 幅 497 x 奥行 742 x 高さ 470 mm、112kg
- ・ 供給窒素 : 40～90 bar
- ・ 電源 : AC 230 V ± 10 %、50/60 Hz、3680 VA（消費電力）
- ・ バイアル、容量 : ガラス、石英、PTFE-TFM（7～55ml）